



**飯塚駐屯地創立57周年
第2高射特科団創隊50周年**

記念行事



筑 豊

飯塚駐屯地
広報誌



発行
陸上自衛隊
飯塚駐屯地広報室
印刷
ダイワ印刷株式会社

記念行事

駐屯地は3月30日(土)、飯塚駐屯地創立57周年及び第2高射特科団創隊50周年記念行事を挙行しました。

記念行事は式典に先立ち、今年1月1日(月)に発生した能登半島地震で犠牲となられた方々への哀悼の意を表し黙とうを捧げました。その後、記念式典、観閲行進、訓練展示等を観覧いただきました。その他装備品展示、体験試乗、子ども広場等様々な催しを実施しました。

また、数年間にわたって我々の諸活動を制約した新型コロナウイルスの影響が無くなって初めての記念行事であり、屋外売店やキッチンカー、嶋田学園飯塚高等学校とのコラボスイーツ「いいなコッタ」の限定販売等飲食も解禁され、約4300名のご来場をいただき大盛況のうちに幕を下ろすことができました。

ご来場いただきました皆様感謝の意を表するとともに、飯塚駐屯地は今度も地域の皆様とともに成長していく所存です。

引き続き飯塚駐屯地へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

飯塚駐屯地「音楽の夕べ」開催

駐屯地は2月23日(金)、飯塚市にある「イヅカコスモスコモン」において令和5年度「音楽の夕べ」を開催しました。

飯塚市では平成30年2月以来、5年ぶり27回目の開催となりました。演奏会には飯塚駐屯地音楽部のほか、福岡市に所在する陸上自衛隊第4音楽隊、北九州市に所在する小倉駐屯地太鼓部「小倉ひびき太鼓」も出演しました。

1000名を超える方々にご来場いただき、限られたお時間ではございましたが、皆様とともに音楽のひとときを過ごせたことは、駐屯地司令をはじめ出演者、並びに勤務にあたったスタッフはと

ても充実した時間を過ごすことができました。

ご来場誠にありがとうございました。



小倉駐屯地「小倉ひびき太鼓」



飯塚駐屯地音楽部



飯塚駐屯地音楽部・第4音楽隊合同演奏



第4音楽隊

特集

災害隊区

～後編～



大橋司令

今回は飯塚駐屯地が担任する災害隊区のうち北側5市2町を担当する部隊「**第2施設群**」及び「**第102高射直接支援大隊**」をご紹介します。

災害隊区担当部隊のご紹介

第2施設群本部管理中隊

担当隊区:全般(直方市・宗像市・福津市・宮若市・小竹町・鞍手町)



災害派遣(給水支援)準備



中隊長 竹内1尉

皆さんこんにちは。本部管理中隊です。

中隊は、第1線で活動する部隊のための後方支援、通信・連絡の確保を任務としており、第2施設群担当隊区全般の、偵察・補給・通信・衛生といった各機能をもって第2施設群が担任する4市2町(直方市、宗像市、福津市、宮若市、小竹町、鞍手町)のどの地域に如何なる事態があったとしても、緑の下の力持ちとして、そこで活動する仲間を支える中隊です。

これからも我々の存在が地域の皆様の安心の一助となるよう、日々訓練に邁進していきますのでご理解とご協力よろしくお願いたします。

第367施設中隊

担当隊区:直方市・宮若市・小竹町



油圧ショベルでの掘削



中隊長 梅井1尉

皆さんこんにちは。直方市、宮若市及び小竹町を担当する第367施設中隊です。

施設科部隊は、災害発生時、人命救助、捜索はもちろん、油圧ショベルやドーザなどの重機を駆使して、瓦礫の除去や道路啓開などの多様な任務を遂行する部隊です。

地震や風水害などの自然災害は、いつどのような状況で発生するか予想できません。そのため、平素の段階から地域の皆様と連携して信頼関係を構築し、災害に備えることが重要です。我々の中隊も自治体の各種行事や防災訓練に積極的に参加して、物心両面の準備を万全にし、日々の訓練に臨んでいます。今後とも、皆様の自衛隊に対するご理解を賜りますようお願い申し上げます。

第401施設中隊

担当隊区:宗像市・福津市・鞍手町



大型ダンプでの運搬



中隊長 安西1尉

皆さんこんにちは。宗像市、福津市及び鞍手町を担当します第401施設中隊です。

我々は、武力攻撃事態対処に係る訓練はもとより、地震・水害等の自然災害に備え、災害対処に係る訓練、担任地域の危険箇所の調査等を自治体の皆様と連携して実施しております。

昨年は、各自自治体で行われた防災会議、総合防災訓練、防災研修等へ参加させていただき、災害発生時における即応・対応能力の向上並びに関係自治体の皆様との連携を深めました。

今後も災害発生時において如何なる任務にも即応できる態勢を維持していくとともに、地域の皆様との絆を更に深めていく所存ですので、引き続き、皆様の自衛隊に対するご理解を賜りますよう、よろしくお願いたします。

第102高射直接支援大隊

担当隊区:古賀市



まつり古賀での炊き出し



大隊長 槇2佐

皆さんこんにちは。古賀市を担当します第102高射直接支援大隊です。

大隊は、主として第2高射特科団が保有する装備品等の整備を担当する部隊として訓練及び支援にあたっている一方、各種自然災害に即応すべく、日々の訓練等を実施しております。

また令和5年11月19日(日)、古賀市で開催された「まつり古賀」を支援し、大隊の装備する野外炊具1号で豚汁600食を提供するなど、平素より地域の皆様との信頼関係を深めております。

今後も各種行事を通じて古賀市との連携を深め、各種自然災害及び不測の事態に迅速に対応できるよう心掛けてまいりますので、これからも地域の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いたします。

第3高射特科群長着任式

第3高射特科群は、3月4日(月)第27代群長 枝次聖徳1等陸佐の着任式を実施しました。枝次群長は、着任に際し「即応し任務を遂行するため、また日々変化する情勢及び状況に柔軟に対応し、常日頃から戦える部隊を創造するため、個人の力、組織の力を集結し、強く逞しく事にあたる必要がある」と述べ、いかなる任務も遂行する強靱な第3高射特科群を創造するため「日々、着実な一歩を」を要望事項として掲げました。また、「本日まで脈々と築いてこられた群の伝統を更に充実、発展させるべく隊員とともに、率先陣頭職務に邁進する」と誓い、着任の辞としました。



集合写真



新編行事

第3高射特科群改編行事

第3高射特科群は、3月21日(木)飯塚駐屯地において、03式中距離地对空誘導弾(中SAM)を完全装備する部隊として、改編行事を実施しました。群は、昭和46年に西部方面隊初の地对空誘導弾ホークを装備する部隊として新編され、この度約53年の歴史に一旦幕を閉じ、中SAMを装備する部隊として新たな一歩を踏み出すこととなりました。諸先輩方から受け継いだ輝かしい歴史と伝統の「不易」な一面と、新たな装備への変換及び任務等の「流行」の両面を重んじ、南西防衛ひいては我が国防衛の最前線での一翼を担う部隊としての誇りを堅持しつつ、いかなる任務も遂行する強靱な部隊、また皆様に愛される部隊を

創造すべく、所属隊員が一致団結し、日々の任務に邁進する所存です。引き続き、皆様のご指導及びご支援等、何卒よろしくお願い申し上げます。

第2高射特科団本部付隊レーダ班検閲

第2高射特科団本部付隊は2月13日(火)から2月14日(水)までの間、黒石原演習場において令和5年度レーダ班訓練検閲を実施しました。本訓練検閲実施にあたり「任務達成」を隊長要望事項に掲げ、レーダ班指揮のもと、日頃の練成成果を十分に発揮すべく、班員一丸



対空レーダの開設



訓練検閲開始式

第103施設直接支援大隊第1直接支援中隊 陸士特技課程「施設機械整備」

第103施設直接支援大隊第1直接支援中隊は、1月10日(水)から3月26日(火)までの間、飯塚駐屯地において陸士特技課程「施設機械整備」の教育を実施しました。中隊は、主として第2施設群の装備品等の整備を実施する部隊で、年間約70件の車検を行う等、装備品等を常に良好な状態に保つため、予防整備を日頃の業務としています。また装備品等の故障発生の際には、速やかに対応し故障排除できる整備のプロ集団です。

本課程教育においても方面内6名の若年隊員に対して整備の基礎を教育する等、後輩

育成にも力を入れ、所属人員が少なくながらも、全力で方面施設力の縁の下の力持ちとして部隊を支えています。



西部方面後方支援隊 最先任上級専長視察

工具の使い方

第366会計隊飯塚派遣隊契約業務

第366会計隊飯塚派遣隊は、令和6年4月11日(月)に糧食品の入札を実施しました。糧食品の入札は毎月実施しており、隊員が食堂で喫食する食材の契約を実施しています。契約業務は糧食品の契約だけでなく、物品・役務・工事といった様々な種類があり、令



入札風景



出納簿の記帳

補給管理システムでの契約行為書の作成

第2施設群教育隊 自衛官候補生課程教育開始

第2施設群は、自衛官候補生課程教育を開始しました。自衛官候補生たちは期待と不安を胸にここ飯塚駐屯地に到着し、4月6日(土)、無事に入隊式を終え、今日も日々訓練に励んでおります。そんな自衛官候補生たちの成長をSNS等でご家族及び地域の皆様に情報発信させていただきま

す。また、第2施設群のみならず駐屯地一丸となって自衛官候補生の成長

ますので、ご期待ください。皆様も応援よろしくお願いたします。



集合写真



群長より区隊旗の授与



サービスの宣誓

厚生センターに理髪店オープン

4月2日(火)、駐屯地厚生センターに理容店「カットイン・コブラ」が新規営業を開始しました。「カットイン・コブラ」は、理容店を欠いて約4年「飯塚市川津にて約50年という長きに渡り、豊富な経験、実績と確かな技術そして無償の笑顔と真心で多くの地域の皆様に愛され親しまれてこられた理容店です。スタッフは、男前な髪形を専門に担当の店主坂田博幸様(愛称マスター)と発展に末永く繋げていくと次に顔そり・フェイスマッサージはまさに「神の手」奥様のゆりこ様(愛称ゆりママ)、そ



オープニング セレモニー



スタッフの皆様



最初のお客様 (駐屯地司令と業務隊長)

新着任部隊長紹介

【凡例】
①前部隊
②ひとこと



第304基地通信中隊
飯塚派遣隊長

2等陸尉 春口 昌郁

①第304基地通信中隊本部
②この度、基地通信中隊飯塚派遣隊長を拝命いたしました春口2尉です。筑豊の紙面をお借りして一言ご挨拶申し上げます。飯塚駐屯地所在部隊の作戦を支える基地システム通信の重責を肝に銘じ、総力を結集して任務に邁進して参ります。



第103施設直接支援大隊
第1直接支援中隊長

1等陸尉 柴田 有望

①第103施設直接支援大隊本部
②この度の異動で第103施設直接支援大隊第1直接支援中隊長に着任した柴田1尉です。中隊長上番間、整備支援はもちろんのこと、災害派遣等においても2施群を直接支援して地域に貢献できるように尽力させていただき所存です。今後ともよろしくお願いいたします。



第102高射直接支援大隊長

2等陸佐 榎 繁樹

①九州補給処装備計画部
②この度、第102高射直接支援大隊長として着任しました榎2佐です。第2高射特科団に対する野整備支援を主たる任務とする他、災害等において古賀市を担任する部隊長として、その重責を自覚し、尽力したいと思います。今後とも引き続き、よろしくお願いいたします。



第3高射特科群長

1等陸佐 枝次 聖徳

①陸上幕僚監部防衛部防衛課
②飯塚は生まれ育った故郷であり、第3高射特科群は自衛官勤務をスタートさせた原隊でもあるため、誇りと重責を深く認識し職責を果たしてまいりますので、「筑豊」の読者の皆様におかれましては、何卒宜しくお願い申し上げます。

駐屯地は4月上旬から中旬、8社59名に対して隊内生活体験を支援しました。主に参加したのは、地元民間企業や市役所等に今春入社(庁)した方々で、基本教練や装備品の装着、行進訓練等自衛隊でなければ体験できない訓練だけでなく、救急法や土の積み等の災害時や不測事態に役立つ体験をしていただきました。また様々な体験を通じて、同期の絆を強固なものにするともに、自衛隊及び飯塚駐屯地への理解を深めていただくことができました。



体験喫食



行進訓練



基本教練

隊内生活体験



第3高射特科群本部
1等陸尉 緒方 聡

第3高射特科群 緒方1尉は、40年以上の永きにわたる勤務を終え、3月18日付をもって、退官されました。長年にわたる自衛隊勤務、大変お疲れ様でした。緒方1尉並びにご家族の今後益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



駐屯地での見送りの様子



記念写真

退官者紹介



会場準備

駐屯地は4月5日(金)から4月15日(月)までの間、天皇杯・皇后杯第40回飯塚国際車いすテニス大会を支援しました。国内外からトップクラスの選手が出場する重要な大会であり、九州車いすテニス協会と連携し、会場準備や撤収、また選手の送迎等を支援して、大会の円滑な運営に寄与するとともに、地域連携の強化に務めました。

飯塚国際車いすテニス大会支援



福岡空港での輸送支援



選手の送迎支援



駐屯地見学(器材研修)



終了式及び委嘱式

駐屯地は4月5日(金)、防衛・駐屯地モニターの終了式及び委嘱式を行いました。令和5年度終了された方は4名で、防衛省・自衛隊、また駐屯地に対する建設的なご意見を多数いただきました。ご協力誠にありがとうございます。また、令和6年度新規に委嘱させていただいた方は6名で今後様々なご意見を賜りますようお願い申し上げます。

モニター終了式及び委嘱式

お問い合わせ先

陸上自衛隊 飯塚駐屯地広報室
〒820-0064 飯塚市津島282 ☎ 0948-22-7651
Mail: 2aab-s3opns-wa@inet.gsdf.mod.go.jp

飯塚駐屯地

検索



飯塚駐屯地ホームページ



飯塚駐屯地X (旧Twitter)

フォローよろしく
お願いします!!

